

研究情報の公開（オプトアウト）

研究実施機関：広島国際大学

試料・情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は、下記問合せ・相談等の連絡先までご連絡ください。提供を拒否されても不利益を被ることはありません。

研究課題名	地方都市の一般診療所における上部消化管内視鏡検査の現状 ～ <i>Helicobacter pylori</i> 感染状況を中心に～
研究実施予定期間	2026年4月1日～2030年3月頃（予定）
研究実施責任者	所属：広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 職階：教授 氏名：楠本 智章
研究の目的・意義	胃がん検診をはじめとして、現在は病院のみならず一般診療所でも広く上部消化管内視鏡検査（以下、胃カメラ）が普及しています。同時に、2013年より <i>Helicobacter pylori</i> （以下、ピロリ菌）胃炎に対するピロリ菌除菌治療が保険適応となり、一般診療所においても多くのピロリ菌除菌治療が施行されています。結果として、当初本邦にて3,000万人を超えると言われていたピロリ菌感染者は減少傾向を示しています。ピロリ菌感染が胃がんの原因となることは明らかとなっていますが、今後はピロリ菌除菌後もしくピロリ菌陰性胃がんの増加が注目されています。その中で、年間千件以上の症例をこなす病院ではなく、一般診療所における胃カメラの現状には様々な報告があり、一定の傾向は示していません。本研究は広島県福山市の石田内科・循環器科の協力を得て、地方都市の一般診療所における胃カメラの現状を解析し、ピロリ菌感染状況等を明らかにすることを目的とします。本研究の結果は、今後の一般診療所における胃カメラ診療における新しい知見の周知に繋がることが期待されます。よって、医学的にも大変意義のある臨床研究となると考えられます。
対象となる方（対象期間）	石田内科・循環器科にて2021年以降胃カメラを受けた患者さんが対象となります。2026年3月現在で約300症例です。
研究方法 使用する試料・情報の項目	石田内科・循環器科の電子カルテからデータベースを作成します。別表にて個別IDを付して（通し番号）、年齢、性別、検査目的、内服歴、主訴、ピロリ菌除菌歴の有無、内視鏡所見、生検結果等を収集します。それらのデータ解析を行った結果を、日本消化器内視鏡学会等の学術集会にて発表いたします。
試料・情報の管理責任者	所属：広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 職階：教授 氏名：楠本 智章
個人情報の保護について	本研究において、個人情報は収集しません。よって、研究対象症例の個人情報が院外に流出することはありません。
問合せ・相談等の連絡先	連絡先担当者名：楠本 智章 電話番号：0823-70-4594 メールアドレス：kusumoto@hiroko-u.ac.jp